

2018年11月1日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

ネットアップの AI コンバージドインフラ「NetApp ONTAP AI」を国内で初めて取り扱い開始 膨大なデータの統合管理と連携を実現

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、ネットアップ合同会社(代表執行役員社長:岩上 純一、本社:東京都中央区、以下:ネットアップ)の、AI に最適なコンバージドインフラ「NetApp ONTAP AI(以下、ONTAP AI)」の取り扱いを国内で初めて本日から開始します。NetApp ONTAP AI は、ネットアップと NVIDIA Corporation(本社:米国カリフォルニア州、以下:NVIDIA 社)が共同で設計し、NetApp AFF A800 と NVIDIA® DGX-1™ を統合して AI 及びディープラーニングの利用に最適化した検証済みのリファレンス アーキテクチャです。

AI を活用して業務の自動化や予測の高度化を図る、製造業や情報サービス業、流通業の企業を中心に展開し、ONTAP AI を使用した AI システムの構築や運用サービスと合わせて 3 年間で 20 億円の売上を目指します。

近年、AI の実用化が急速に進んでいますが、計算の速度や正確さを確保してビジネスで活用するには、高性能なコンピューティングリソースが求められます。また、使用する環境や目的、計算対象に応じた検証や開発のための環境構築にも多くの時間がかかります。

ONTAP AI は、クラウドとのデータ連携や分析の高速化に優れたオールフラッシュストレージ NetApp AFF A800 と、ペタ FLOPS の演算性能を持つ NVIDIA DGX-1 システムを統合した AI 向けコンバージドインフラです。Cisco Systems の、Cisco Nexus 3232C 100Gb イーサネットスイッチで各機器を相互接続しており、高性能な分散コンピューティングを実現しています。スモールスタートでの利用から開始することもでき、データの増大にあわせてシステムを停止することなく拡張することが可能です。また、クラウドとオンプレミス全体でのデータ管理を実現するネットアップの「データファブリック」の仕組みにより、クラウド上のデータや GPU リソースとの連携、データのバックアップ、アーカイブなどの効率化が可能になります。

CTC は、AI システムの構築実績を基に設計した AI 活用のためのハイブリッドクラウド環境「CTC Integrated AI Platform Stack」を提供しています。また、ONTAP AI を構成する NetApp AFF A800、NVIDIA DGX-1、Cisco Nexus 3232C の各製品は、各社のパートナーとして既にシステム構築の実績もあります。

既存システムとの連携やフロントエンドの開発などを含めて、ONTAP AI の導入設計から各種の設定、運用をサポートします。また、マルチベンダーで総合的な検証や研究開発を行う CTC の施設「テクニカルソリューションセンター(TSC)」で ONTAP AI を配備し、お客様の目的に応じた検証を行います。

今後も CTC は、ネットアップ及び NVIDIA 社と連携し AI 活用によるお客様のデジタルトランスフォーメーションに貢献していきます。

<NetApp ONTAP AI>



- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp